株式会社 工房レストア
紙製文化財の修理・修復・複製

技と心～物語をつなぐ

We connect the stories for the future.

- 古文書
- 掛軸
- 額装
- 地図
- 巻物
- 経典
- 屏風

お取り扱い内容

古文書

掛軸

額装

地図

巻物

経典

屏風

レプリカ制作

ポスター

新聞

洋本

色紙

その他

製造

絵を掛軸に仕立てた、資料を額に仕立てた、資料保管用の箱作製もできます。

紙資料修復・製造・レプリカ製作の
詳しい事例やお見積もりはこちら

工房レストア
http://www.kobo-restore.com/

取引先実績・お客様

NISSHA（株） / （株）トッパングラフィックコミュニケーションズ / アサヒグループホールディングス（株） / 中日新聞 / JR 東海 リニア・鉄道館 / 日本放送協会大阪放送局 / （株）大阪大仏堂 / （株）便利堂 / （株）丹青社 / （株）極東書店 / （株）紀伊國屋書店 / 仏画工房 楽詩舎 / あさば仏教美術工房 / 京都大学 / 大阪大学 / 神戸大学 / 滋賀大学 / 関西大学 / 同志社大学 / 東京大学 / 愛知大学 / 神戸松蔭女子学院大学 / 甲南大学 / 近畿大学 / 関西学院大学 / 和歌山大学 / 名古屋外国語大学 / 名古屋学芸大学 / 大阪教育大学 / 大阪府立大学 / 武庫川女子大学 / 大阪天満宮 / 西宮神社 / 住吉大社 / 養寿寺 / 常徳院 / 総持寺 / 方違神社 / 国立歴史民俗博物館 / 堺市博物館 / 岐阜市歴史博物館 / 大阪市立美術館 / 姫路市立美術館 / 犬山城白帝文庫 / 大阪府公文書館 / 和歌山県立文書館 / 堺市立中央図書館 / 伊丹市立図書館 / 奈良文化財研究所 / 国際日本文化研究センター / 大阪歴史博物館 / 南方熊楠顕彰館 / 孫文記念館 / 伊藤忠兵衛記念館 / トヨタ博物館 / 高島屋史料館 / 西田幾多郎記念哲学館 / 吹田市立博物館 / 茨木市立文化財資料館 / 池田市立歴史民俗資料館 / 八尾市立歴史民俗資料館 / 明石市立文化博物館 / 柳田國男・松岡家記念館 / 伊丹市立博物館 / 久留里城址資料館 / 高知城歴史博物館 / 西宮市立郷土資料館 / さかい利晶の杜 / 尼崎市立地域研究史料館 / 白樺文学館 / 杉村楚人冠記念館 / 大阪産業労働資料館 エル・ライブラリー / 大阪大学総合学術博物館 / 旧植田家住宅 / 福井県ふるさと文学館 / その他行政機関 / 個人のお客様

［順不同　敬称略］

株式会社 工房レストア
［営業時間］9：00～17：00　［定休日］土・日・祝

〒551-0031 大阪市大正区泉尾 6-2-29 テクノシーズ泉尾 201
TEL：06-4394-7421　FAX：06-4394-7422　E-mail：kobo-restore@hop.ocn.ne.jp
工房レストアのブログ『こんなんやってまんねん』随時更新中 !!　koborestore.blog.fc2.com/

交通アクセス
●JR 大阪環状線「大正駅」徒歩約 20 分　●大阪市営地下鉄 長堀鶴見緑地線「大正駅」徒歩約 20 分
●大阪市営バス 87、98 系統「泉尾一丁目」徒歩約 3 分

私たちは、文化財も個人資料も等しく
大切なものを未来へ繋ぐお役目を果たし、
次世代の　まもり手　を
育てることを使命としています。

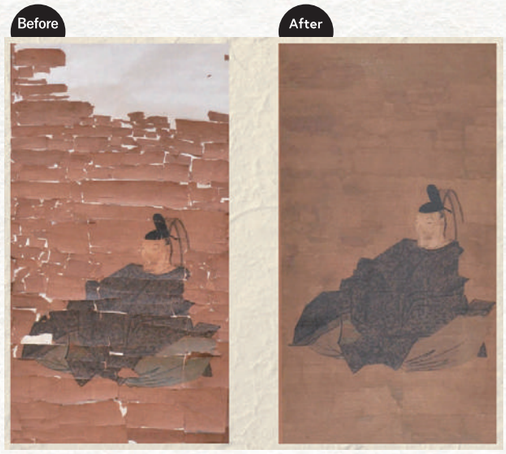
紙に込められた物語をつなぐ
工房レストア

工房レストアは紙資料の修復を専門にしている会社です。

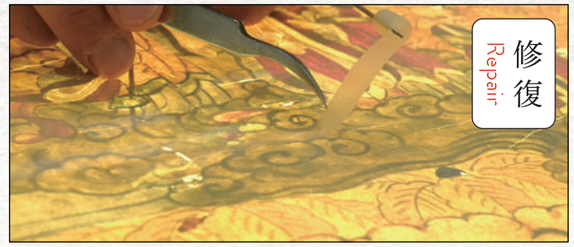
私たちは歴史的な資料や個人様の大切な資料、ポスターなどのコレクションも手がけております。

修復することはとても大事な作業です。大切な資料を拝見させていただき些細な部分も修復にあたることで、見えてくるその「もの」のストーリーがあります。

それをお客様にお伝えし、次世代へ伝えていただくことで、「時代をつなぐ」という大切な役目に少しでも携われるということに誇りをもっております。

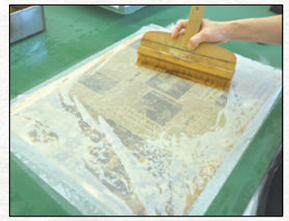


経年劣化によりバラバラになった
掛け軸を修復いたしました。（個人所蔵）



修復 Repair

高い技術で国宝級レベルの文化財修復を多数手がけています。また、個人の紙資料や思い出の品の修復までそこに宿る想いに軽重はありません。多くの方に、先人の思いに触れる感動を味わっていただきたいと思っています。



保存 Save

正しく保存をすることは、未来へ遺す大切な工程です。しかし資料として活用しなければ存在の意味を見失ってしまいます。保存と活用の狭間で私たちができることは、保存の知識を広げ歴史的資料の寿命を確実に延ばすことです。

伝承 Tradition

図書館司書の方や一般の方に向けて、修復や和綴じ製本の技術指導を行っています。また、次世代のまもり手を育てるため、子どものころから本物の歴史に触れる機会を作り、体験を経て修復の大切さや興味を持ってもらえるよう活動しています。

困った！ 相談したい！こんなものまで大丈夫!?

- ボロボロでも直せるの？
- 修復にどのくらいお金がかかるの？
- レプリカって作れるの？
- 傷んだ賞状を飾りたいなぁ
- 本のカバー
- お気に入りの雑誌が破れちゃったどうしよう!
- 折れたり、破れたりしてしまったポスターどうしよう・・・
- 大事な色紙が傷んできたなぁ
- 貴重な資料が水害で浸水してしまった
- 思い出のレコードのジャケット・卒業アルバム
- 家系図・母子手帳 etc

詳細はこちら
お客様の声を多数掲載しています！

約 1200 年前の書物が残っているのは “和紙” だから

日本ではなぜ約 1200 年前の紙資料が存在して私たちが修復することが可能なのか不思議ではないでしょうか？
実は、世界に誇る日本伝統文化の「和紙」が深くかかわっているのです。「和紙」は日本固有のもので、水や湿気から守ってあげれば約 1200 年前の文字情報が現代に伝わっている実績があります。（正倉院など）
現在では公文書や企業資料の記録類は、情報保存の為のデジタルデータ化が進んでおります。そこで、データ化しているから大丈夫と思われる方もいるでしょう。しかしデジタル化すれば、1000 年持ちますか？　CD データは持って 30 年、一昔前に業界で流行ったマイクロフィルム化、現在はフィルムが劣化して見られなくなっています。ではパソコンで情報を保存し管理してもらえば大丈夫でしょうか？　サーバーが飛んでも…？
パソコンであれサーバーであれ情報が残らなければ意味がありません。

“和紙の文化は保存の文化”

だから原本の保存が大事なのです。

早期に保存のための対応をすることによって大切な「もの」の寿命は更に延びていきます。その他にも材質や環境によって保存方法は様々ですので、大切な資料に合わせた保存方法をアドバイスさせていただきます。